

1998年6月17日 (水) 日経産業新聞 店頭企業 ベンチャー
最前線ベンチャービジネス / 物流効率化 - アウトソーシング需要にも商機

物流コストの削減は中小企業にとっても重要課題。しかし、資金面で余裕のない企業は高額な最新設備の導入はできない。日本ロジファクトリー (大阪市、青木正一社長) は企業が物流業務を外注化するアウトソーシング需要を取り込んでいる。

運送業者手配も受託

青木社長は大手運送会社に勤務した後、船井総合研究所で物流コンサルタントとして経験を積んだ。物流作業の現場を分析・改善するコンサルティングから、運送業者の手配までを一貫して請け負う。

現在、売上高30億 - 300億円規模の企業を中心に約25社と取引がある。青木社長は「最近の経営者は発送が柔軟。資産を本業に集中し、不得手な部分は外注化する」と需要が急に伸び始めた理由を説明する。

ここにきて企業の物流コスト削減の動きが活発になったのは長引く不況の影響が大きい。中・長期的な事業展開を見据えた場合にも物流コスト削減は常に取り組まなければならない課題。それだけに今後もベンチャー企業が活躍する機会が増えそうだ。